

【外国語活動・小4・This is my favorite place】①

育成を目指す資質・能力

- (知・技) 実際のコミュニケーションを通して、教室や教科等の単語や紹介する表現を体験的に理解することができる。
- (思・判・表) 学校のことをよく知ってもらうために相手の反応を確かめ、知りたいことに応じながら道案内や教室紹介することができる。
- (学向力等) 市内のALTとの交流を通して、英語と日本語の普遍性と固有性に気付き、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。

ICT活用のポイント

ウェブ会議システムを利用して、ICT端末を市内4校のALTとオンラインでつなぎ、児童一人一人がネイティブスピーカーと英語のコミュニケーション活動を体験できる場を設定した。〈主体的な学びの促進〉 〈学習の個性化〉

【つかむ】

本時のめあてをつかむ
「ALTの先生たちに学校のお気に入りの場所を紹介しよう」

【追究する】

英語で自己紹介をする
好きなものを聞き合う
好きな教室への道案内をする
好きな教室について紹介をする

【まとめる】

ALTとの交流を振り返り、
本時の学習内容をまとめる

事例の概要

- 前時までに学習した「校舎内を案内する表現」や「お気に入りの教室について紹介する表現」を活用して、ネイティブスピーカーとオンラインで英語交流活動を行う。
- 1クラスを8グループに分け、ALT1人と2グループが交流する。交流ブースは4か所設置する。片方のグループが交流している間は、もう片方のグループは交流の様子を見て、英語でどんなことをやり取りをしているかや、リアクションの取り方などを学ぶ。

【事例におけるICT活用の場面①】

- ウェブ会議室システムを利用してグループのICT端末を市内のALTとオンライン接続し、1人1人が話す機会を確保する。また、ICT端末と電子黒板を接続して、ALTの画面を電子黒板に大きく投影し、全員がALTの話す様子を見られるようにする。

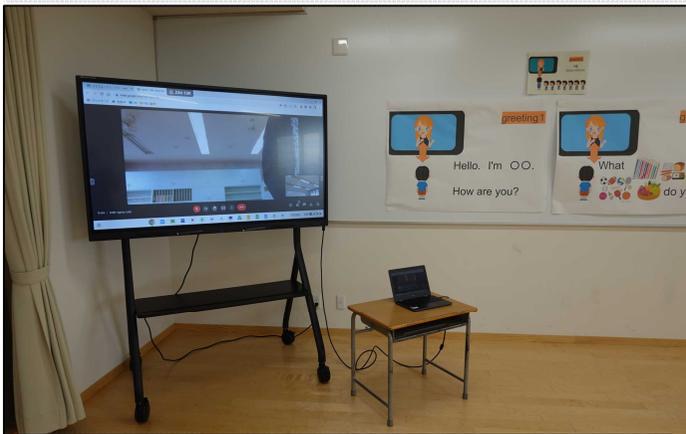
【事例におけるICT活用の場面②】

- プレゼンテーションソフトを利用して、お気に入りの教室のイラストや写真等を見せながら、英語で紹介できるようにする。ALTとは学習支援ソフトで共有しておく。

【外国語活動・小4・This is my favorite place】②

【事例におけるICT活用の場面①】

ウェブ会議システムを利用して、ALTとオンラインで英語コミュニケーション活動



ICT端末と電子黒板を接続し、ALTの画面を大きく投影する。



英語で自己紹介ができた！
ALTの先生の好きな食べ物がわかった！

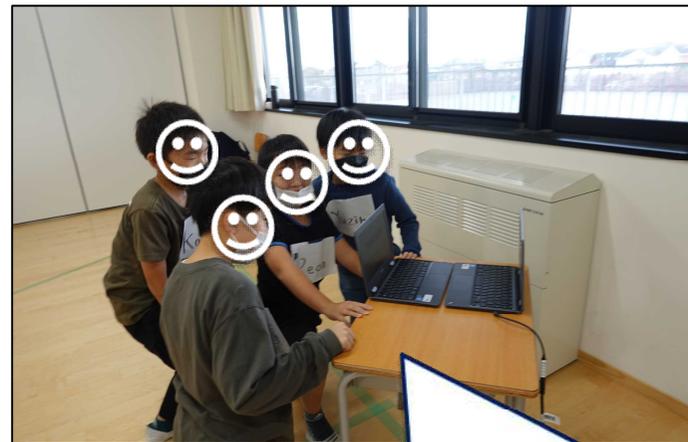


練習した英語が伝わって嬉しかった！
ALTの先生の話す内容を、グループのみんなで考えて、意味が分かったよ！

一人ずつ自己紹介を行うことにより、全員が英語でのコミュニケーションを体験することができた。また、好きな教室への道案内はクイズ形式で行い、積極的に会話に参加できるよう配慮した。オンラインの交流にしたことにより、リアクションや表情でのコミュニケーションも意識させることができた。難しい単語や表現があった場合には、グループで話し合いながら、ALTの話を理解しようとする姿が見られた。ALTの母国や文化について新たな発見をしたことで、英語や外国への興味を高めることができた。

【事例におけるICT活用の場面②】

プレゼンテーションソフトを利用して説明



写真やイラストを使って、分かりやすく紹介できるように工夫したよ！

プレゼンテーションソフトを利用し、学校のお気に入りの場所を紹介した。児童が作成したプレゼンテーションを、学習支援ソフトを利用してALTと共有しておくことにより、児童が紹介する内容について、より正確に理解し、やり取りすることができた。

【活用したソフトや機能】

- ・ウェブ会議システム
- ・電子黒板
- ・プレゼンテーションソフト
- ・学習支援ソフト(データの共有)